

都市型高層建築構成法

背景とプロセス

夜の繁華街を象徴する建物が並ぶ横丁は、いかにも入りにくい雰囲気漂っているものの、一歩足を踏み入れると、水平方向に奥へ奥へと誘い込まれる。そして、活気ある雑多な空間やそこで生まれる新たな出会いが魅力の一つとなっている。これを、「背徳誘い空間」と定義する。一方で、閑静な住宅街やホテル、公園では、人々は安心感や落ち着きを感じ、その場にとどまろうとする。これを、「健全落ち着き空間」と定義する。都市は、この2つの両極端な空間が膨大な中間領域を介して曖昧に繋がることで形成されている。

この研究では、水平方向の移動を促す背徳誘い空間、その場にとどまらせようとする、健全落ち着き空間を抽出し、それらを隣接し合いながら繋げることで、それぞれの都市の魅力が凝縮した新たな積層建築の空間構成手法を提案することを目的とする。

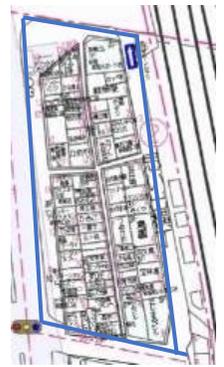
背徳誘い空間

現存する飲み屋街を抽出する。

①新宿思い出横丁

敷地面積：約360m²

敷地概要：新宿駅から徒歩3分
多くの居酒屋が
立ち並ぶ。



S=1/2500

③北千住飲み屋街

敷地面積：約6000m²

敷地概要：北千住駅から徒歩2分
地元の人暮らしに
根ざしたお店、
専門店が並ぶ。



S=1/2500

②吉祥寺ハモニカ横丁

敷地面積：約3300m²

敷地概要：吉祥寺駅から
徒歩1分

料理店や居酒屋が
アーケード下に
立ち並ぶ。

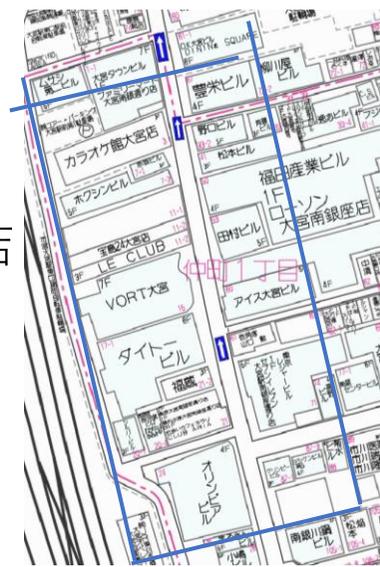


S=1/2500

④大宮南銀座通り

敷地面積：約9500m²

敷地概要：大宮駅東口の
南側一帯
飲食店やカラオケ店
などが広がる。



S=1/2500

健全落ち着き空間

生活を彩る施設

- ・ 居住系：ホテル、老人ホーム
 - ・ 学習系：カルチャースクール、大学
 - ・ 健康系：温浴施設、スポーツ施設
- プログラムを抽出する

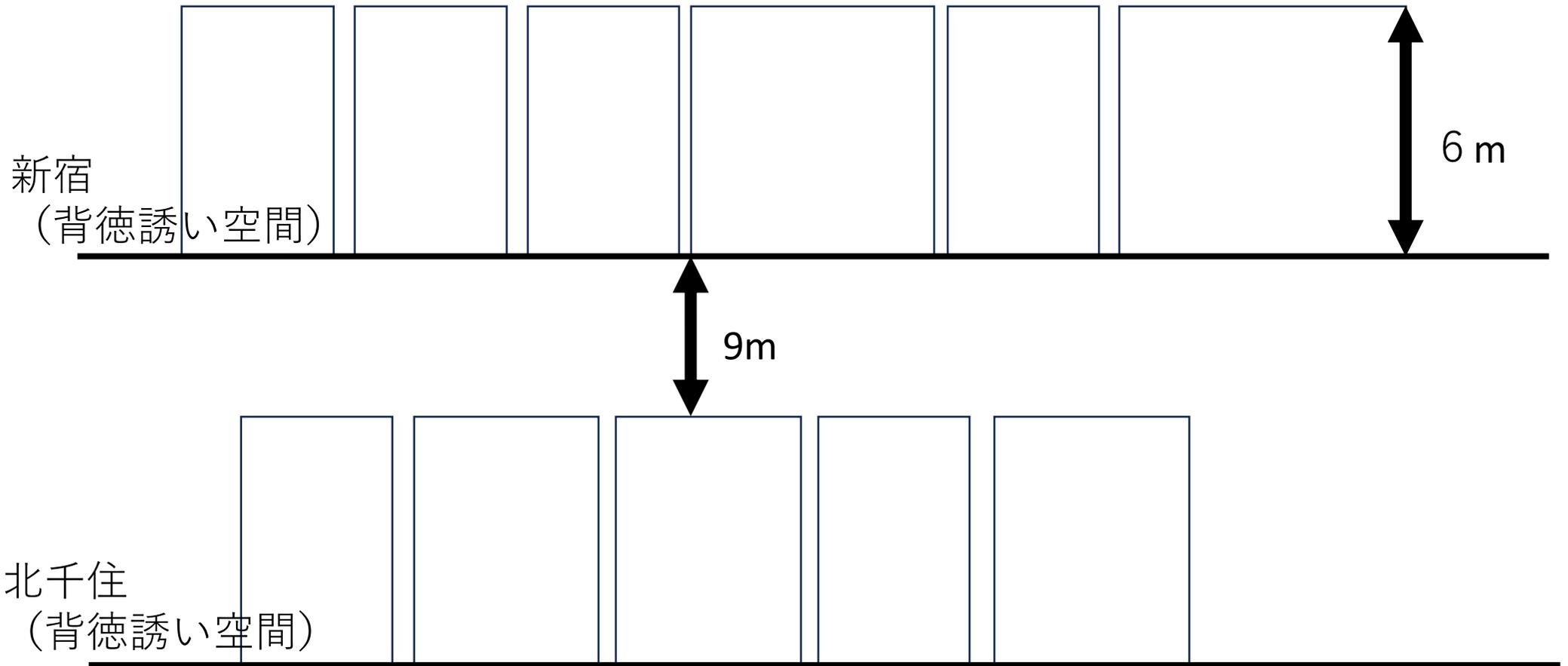


設計手法

- ・背徳誘い空間の一部を抜き出す。

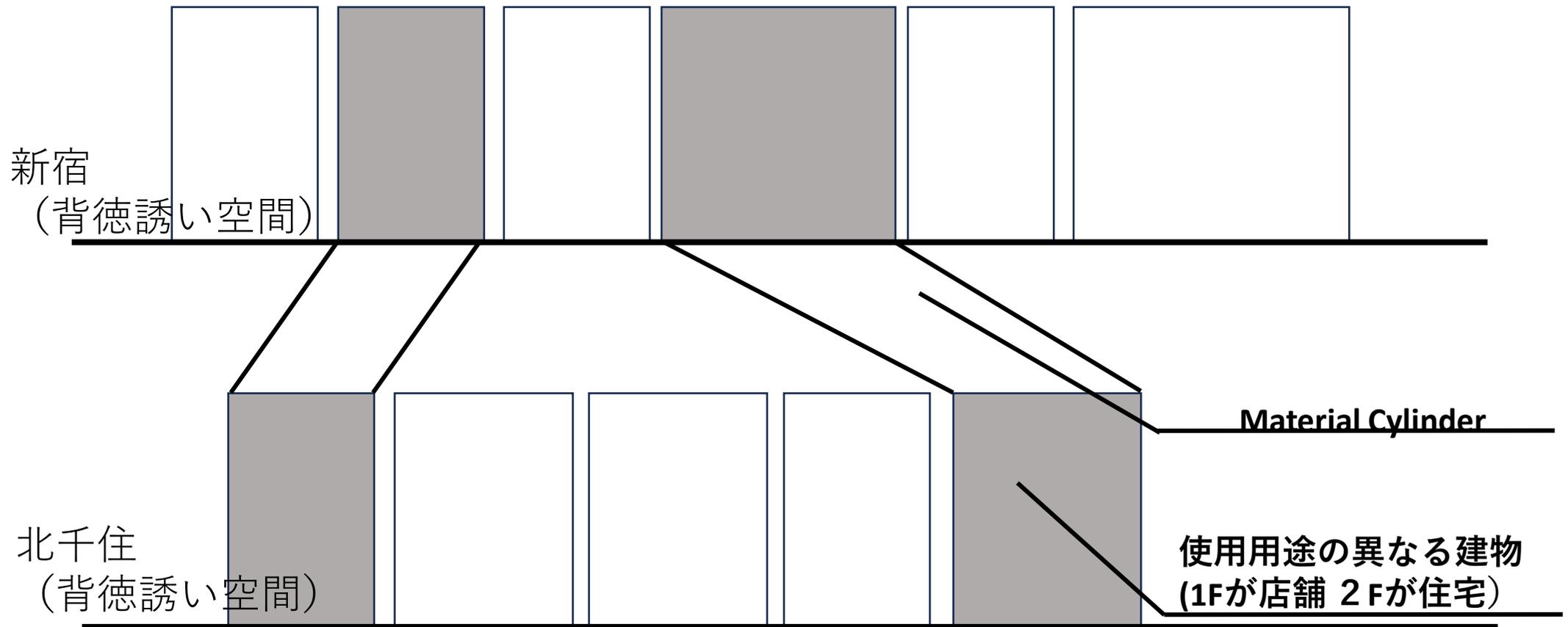
建物が6 mを超える場合は6 mで建物を切断し、屋根を付ける。

- ・背徳誘い空間同士を上下に積み重ね、都市同士を9 m離す。



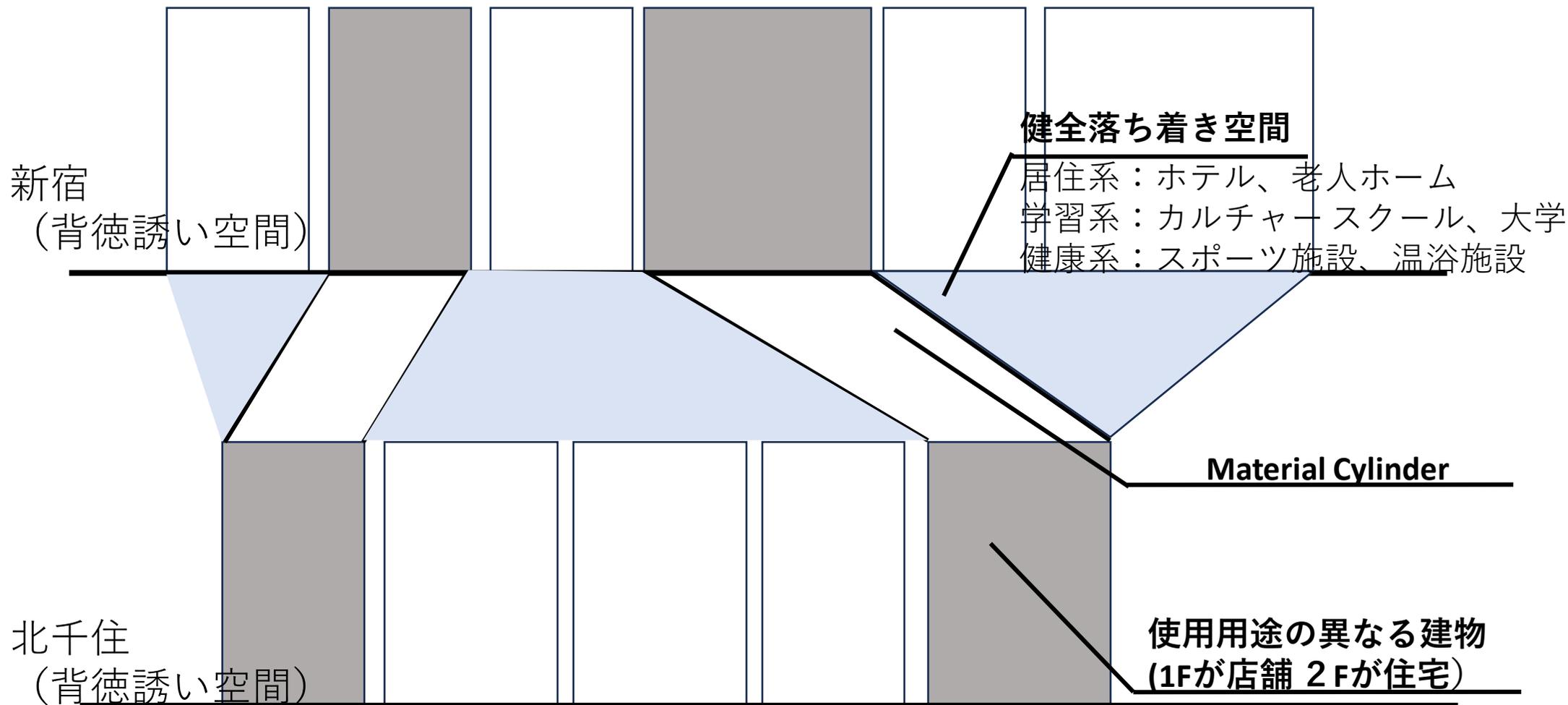
設計手法

- ・ 各階で使用用途が異なる建物を抽出し、Material Cylinderによって繋げる。
- ・ Material Cylinderによって囲まれた空間を、背徳誘い空間と健全落ち着き空間の融合空間とする。



設計手法

- ・ 背徳誘い空間同士の層の内、Material Cylinderではない部分を健全落ち着いた空間とする。
- ・ 健全落ち着いた空間に、居住系、学習系、健康系施設のプログラムを挿入する。



設計手法

以上の順序で、背徳誘い空間と健全落ち着いた空間を積み重ねる。

□ ...健全落ち着いた空間

■ ...背徳誘い空間



ハモニカ横丁

学習系

思い出横丁

健康系

北千住飲み屋街

居住系

大宮南銀座通り



⑤五层

5F 平面图 S = 1/500



10F 平面図 S = 1/500



15F 平面図 S = 1/500

Material Cylinder

水平方向の移動を促す背徳誘い空間では、奥へ奥へと誘われていく人々の動きを一度止め、縦方向の移動へと変換する。健全落ち着いた空間では、その場でとどまろうとする人々をうごかし、縦方向へと変換する、最小中間領域。



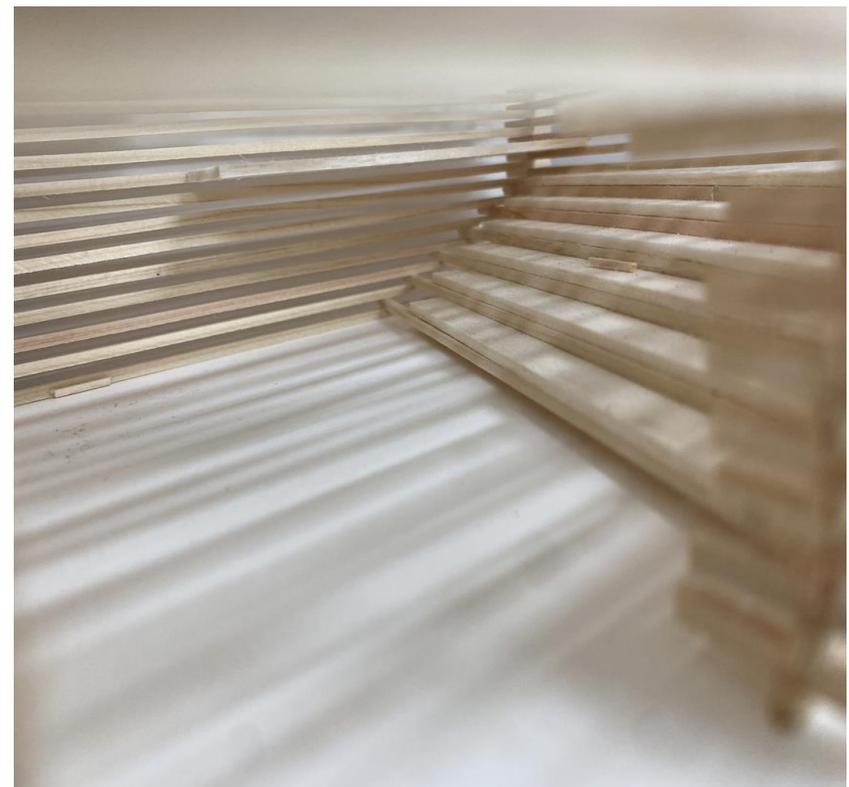
Wood Cylinder

Wood Cylinderでは、読書や会議スペース、発表の舞台として、大人数で使用することが出来る。木目調で出来ており、木の温かみを感じながら、ゆっくりとくつろぎ、多くの人と交流することが出来る。

格子状になっている床や、階段がWood Cylinderの周りにはみ出しており、健全落ち着いた空間から、自然と人の流れが起きることを促す。



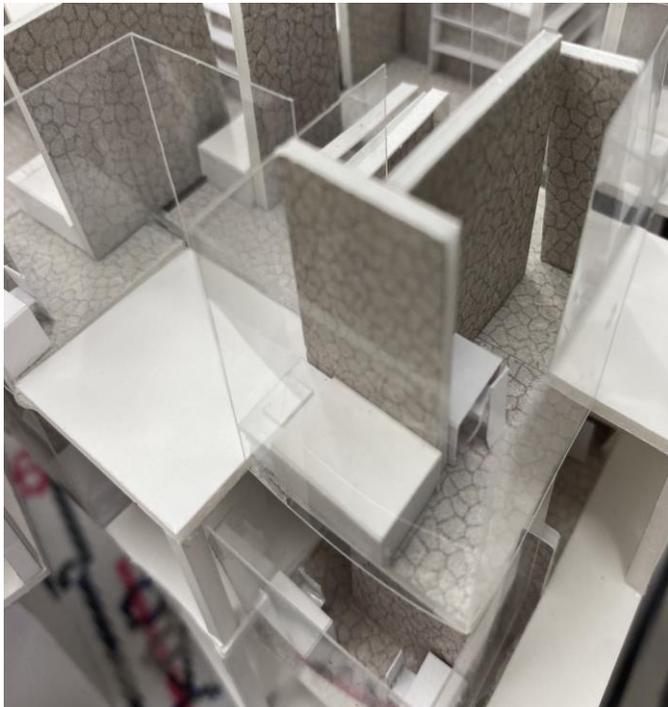
階段発表スペース



舞台発表

Stone Cylinder

Stone Cylinderには、個人読書スペース、個人就寝スペース、空間は、最小単位で区切られているため、他の人に邪魔されることなく、一人の時間を楽しむことができる。Stone Cylinderの周りには、ソファでくつろぐスペースや、花を育てるスペースなどがあり、Stone Cylinderから、健全落ち着き空間へと人が流れていくことを促す。



就寝スペース



読書スペース



勉強スペース

Nature Cylinder

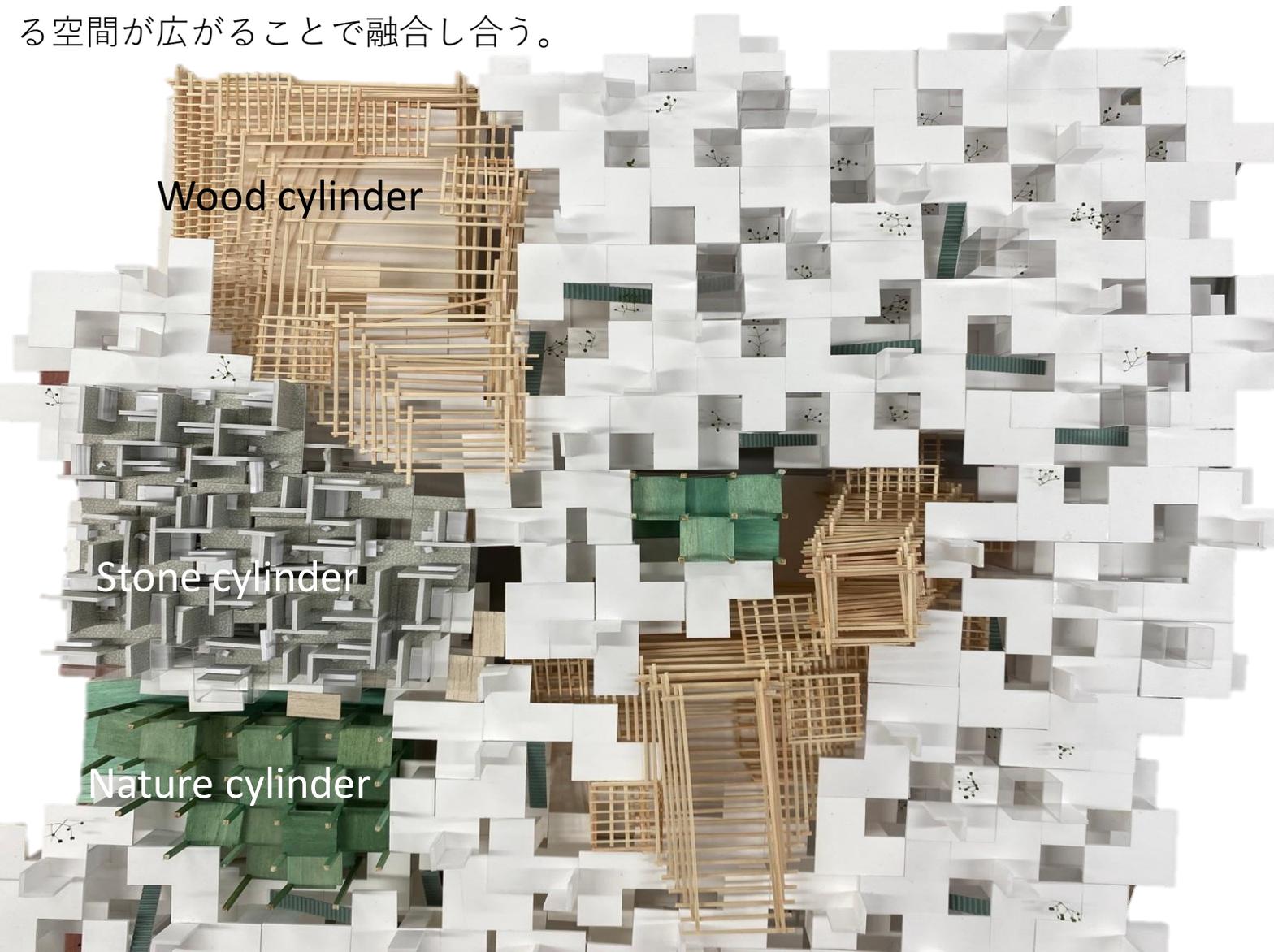
Nature Cylinderは、他の2つのCylinderに比べ、日光が当たりやすい場所に位置している。晴れた日には、自然光を感じながら、緑豊かな空間を寝ころびながらくつろぎ、のんびりと過ごすことが出来る。

2 m × 2 mの床がステップを踏んで配置されているため、周りの床にいる人との交流を促す。



Material Cylinderと健全落ち着き空間の繋ぎ方

健全落ち着き空間と、Material Cylinderの間では、Stone Cylinderの周りには、老人ホームの個室や、カプセルホテルが広がり、一人でソファでくつろいだり、外を見ながら勉強したり、花を育てたりすることが出来る。一方で、Wood Cylinderの周りには、老人ホームの交流スペースやファミリー向けのホテルといった、他の人と一緒に使用する空間が広がることで融合し合う。



背徳誘い空間と健全落ち着き空間の繋ぎ方

背徳誘い空間の屋上に3層の空間を挿入することで、背徳誘い空間、健全落ち着き空間を互いに行き来し、魅力ある空間を提案する。

この3層は、多くの吹き抜けを持つ。

3層吹き抜けとなっている場所には、ガラスのエレベーター、2層吹き抜けとなっている場所には、庭を持つ。





3層吹き抜けの部分には、ガラスのエレベーターを持つ。
足腰の不自由な人の移動を助けるだけでなく、柱としての構造体の役割を持つ。



2層吹き抜けの部分には、庭を持つ。
庭を持つことで、緑豊かな空間をどこにいても感じることが出来る。



学習系健全落ち着き空間

いくつも机が散らばっており、自分の好きな空間で学習することが出来る。



健康系健全落ち着き空間

広い空間を自由に走り回ったり、ヨガ教室を開いたり、多くの人との交流の場となっている。



居住系健全落ち着き空間

ソファが散らばって置いてあり、まるで自宅かのようにくつろぐことが可能。

積層建築について

3種類のMaterial Cylinderによって背徳誘い空間、健全落ち着き空間が本来持つ、それぞれの良さが高められ、活動的な建築となっている。

また、Material Cylinderは、建物の上下方向からのみではなく、敷地をまたいで横方向にもつながっており、人々の動きをより活発化させている。





健全落ち着き空間の繋ぎ方

学習系勉強部屋、健康系ヨガ教室、居住系ソファースペースへと緩やかに変化する。



Material Cylinderの繋ぎ方

床がステップを踏んで、緩やかに繋がっていく。



上下左右すべての方向から、繋がることによって、健全落ち着いた空間、背徳誘い空間、Material Cylinderを知らず知らずのうちに移動し、人々の交流を促す。あらゆる空間を自由に行き来することで、活動的な積層建築となる。